

科目名	ファッション造形基礎	単位数	3 単位	学科・学年	生活総合 科 2 年	
使用教科書	ファッション造形基礎 (実教出版)			副教材等		
学習目標	① 被服製作に取り組む中で被服の構成、被服材料の種類や特徴などファッションを造形するのに必要な基礎的・基本的な知識と技術を身につける。 ② 洋服や和服を計画に従って、能率的に製作に取り組む能力を身につける。					
学習評価	○ 次の四つの観点に基づき、学習内容のまとめ（定期考査までを学習のひとまとめ）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。					
	①関心・意欲・態度	ファッション造形に関心を持ち、被服製作に意欲的、計画的に取り組んでいるかをみます。				
	②思考・判断・表現	ファッション造形の基礎的・基本的な内容について思考を深め、デザインや用途に適した被服材料を選択できる能力が身についているか、また美的にもしくは創意工夫やアイデアを生かした表現ができているかをみます。				
	③技能	洋服・和服の製作に関する基礎的、基本的な技術を身に付けているか、また能率的に製作できているかをみます。				
	④知識・理解	デザインや着用目的に応じたファッション製品を製作するのに必要な基礎知識および技術を身につけているかをみます。				
		評価方法\観点	①	②	③	④
学習状況観察		◎	—	—	—	自己評価の実施
ワークシート		○	◎	◎	◎	課題ごとに提出
製作作品		◎	◎	◎	○	製作途中、終了後に提出
ペーパーテスト		—	—	○	◎	中間・期末試験
※表中の◎は観点の中でより重視するところです。 ○ 学習の過程で自己評価を実施しますので、自らの学習状況をチェックし、目標到達に努めましょう。						
履修上の注意	○ 実習中心の授業です。実技内容を正確に理解し、意欲的に取り組んでください。 ○ 作品製作時は授業時間内に課題を終えるよう作業に取り組んでください。 ○ 欠席したり、時間内に出来ず進捗が遅れた場合には、次の時間までに遅れを取り戻し、みんな一緒に次の段階へ進みましょう。 ○ 被服室では、安全に配慮し器具を取り扱い使用した物は収納場所へ片づける、飲食物は持ちこまない、落書きや傷をつけないなど心がけてください。					

学期	月	学 習 内 容	時 数	学 習 の ね ら い	学習活動（評価方法）
第1学期	4	第1章 衣服の構成 1 人体と衣服 2 立体構成衣服と平面構成衣服	1 1	○被服の構成として人体の構造や機能、寸法や体型などと被服とのかかわり、洋服と和服を取り上げ被服の構成について学びます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業クラブ実物鑑定競技の学習を兼ねる</li> <li>・被服製作技術検定への取り組みを兼ねる場合がある。</li> <li>(課題提出)</li> <li>(自己評価)</li> <li>(学習状況観察)</li> <li>(作品提出)</li> </ul>
	5	第4章 和服の製作 1 製作の基礎 2 製作 甚平 一重長着など	5 2 6	○和服に関する基礎的基本的な理論と技術について学びア～カの習得を目指す。	
	6			ア 和服の構成と名称 イ 材料の選択 ウ 寸法の見積もりと裁断 エ 縫製 オ 仕上げ	
	7	3 着 装	2	カ 着 装	
第2学期	9	第2章 衣服の素材 1 衣服素材の種類 2 衣服素材の性能と選択	5 2	○繊維、糸、布の種類や特徴や性能、用途やデザインに応じた被服材料の適切な選択と取り扱いができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被服製作技術検定への取り組みを兼ねる場合もある。</li> <li>(課題提出)</li> <li>(自己評価)</li> <li>(学習状況観察)</li> <li>(作品提出)</li> </ul>
	10	第3章 洋服の製作 1 製作の基礎 2 製作① (シャツ・ブラウスなど)	2 3 4	○洋服に関する基礎的基本的な理論と技術について学びア～クの習得を目指す。	
	11			ア 採寸 イ 型紙の基本 ウ デザインと材料の選択 エ 裁断	
	12	3 着 装	2	オ 仮縫いと補正 カ 縫製 キ 仕上げ ク 着 装	
第3学期	1	第3章 洋服の製作 2 製作② (スカートなど)	2 5		<ul style="list-style-type: none"> <li>(ノート提出)</li> <li>(自己評価)</li> <li>(学習状況観察)</li> <li>(課題レポート提出)</li> </ul>
	2				